

おう ばく ぜん
黄檗禅と煎茶

～黄檗三筆の墨蹟と煎茶道具～



江戸時代にやってきた革新

上：隠元隆琦筆
下：煎茶道具

令和5年 5月 15日 (月)
～ 7月 21日 (金)

6月17日(土) 関連セミナー開催

煎茶テイスティング体験もあり。
展示やセミナーの詳細は当館ウェブサイト
にてご確認ください。



今回の企画展では、新規寄贈資料を中心に構成しています。寄贈資料は、望月惟司氏より受けたもので、陶磁器・茶道具類等 173 件、墨蹟類等 491 件にのぼる膨大な資料群を、是非駒澤大学にというご意向のもと、寄贈に至りました。当館では、望月氏の寄贈資料を「望月コレクション」と称しています。

今回展示できる資料は、膨大なコレクションの内のごく一部ですが、黄檗文化の代表である「黄檗三筆」と「煎茶」に着目し、逸品を紹介いたします。

黄檗三筆の墨蹟

黄檗禅の伝来は、文化面においても、明代の書や煎茶・普茶料理などの文化を日本にもたらし、新たな禅文化が展開しました。

中でも隠元隆琦と彼の二大弟子木庵性瑫と即非如一は「黄檗三筆」と称され、その力強い書風は、御家流が中心であった当時の和様書の伝統に新たな流行をもたらしました。



即非如一筆



木庵性瑫筆



黄檗の伝来と煎茶道具



煎茶道具 / 文房具

中国では明の時代になると、宋・元の時代に盛んであった抹茶にかわり、独自の煎茶文化が花開きます。隠元は黄檗禅と共に明の時代に隆盛した煎茶文化を日本へともたらしました。

隠元が伝えた煎茶文化は、売茶翁や文人たちを介して広がり、日本の文化として根付いていきます。

関連セミナー

煎茶 6 種類
テイスティング
体験もあり

6月17日(土)

13:00 ~

講師：モート、セーラ

(本学文学部英米文学科教授)

>> 詳細はウェブサイトにてお知らせいたします。



駒澤大学禅文化歴史博物館

住所：〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

電話：03-3418-9610

開館日：月曜日～金曜日 10:00～16:30

休館日：土・日・祝 その他大学の定める休業日

※新型コロナウイルス感染症の感染状況等によっては、内容等に変更が生じることがあります。